

学校に関するアンケート結果について

処暑の候、保護者様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、1学期末には学校評価のためのアンケートに御協力をいただきましてありがとうございました。その結果につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

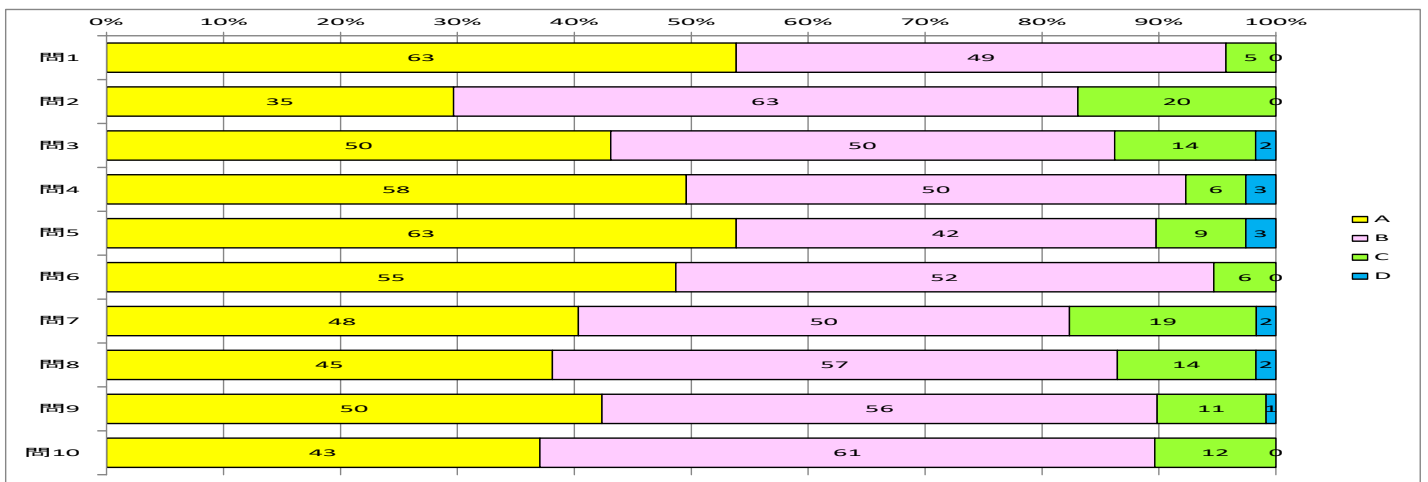
記

《保護者の設問・結果》

- 問1 お子さんは、「明るく、心豊かな子」に育っていると思われませんか。
- 問2 お子さんは、「自ら学び、よく考える子」に育っていると思われませんか。
- 問3 お子さんは、「健康で主体的に取り組む子」に育っていると思われませんか。
- 問4 お子さんは、「あいさつのできる子」に育っていると思われませんか。
- 問5 お子さんは、毎日喜んで登校していると思われませんか。
- 問6 学校（学級）の教育方針や子どもの様子は、学校・学級だよりや参観日等で伝わっていますか。
- 問7 学校は、子どものことについて気軽に相談できると思われませんか。
- 問8 学校は、いじめや不登校のない楽しい学級づくりに努めていると思われませんか。
- 問9 学校は、楽しくわかる授業づくりに努めていると思われませんか。
- 問10 学校は、安全で快適な教育環境が整っていると思われませんか。

□ 学校に望む（期待する）ことはなんですか。（3つまで選択）

- ①学力向上の推進 ②心の教育や人権教育充実 ③体力向上の推進 ④学校行事充実 ⑤体験活動充実
- ⑥社会ルールやきまりを守る指導 ⑦教職員の資質・指導力の向上 ⑧特別支援教育の充実
- ⑨防災・安全対策の充実 ⑩開かれた学校づくり ⑪施設・設備の充実 ⑫その他



A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

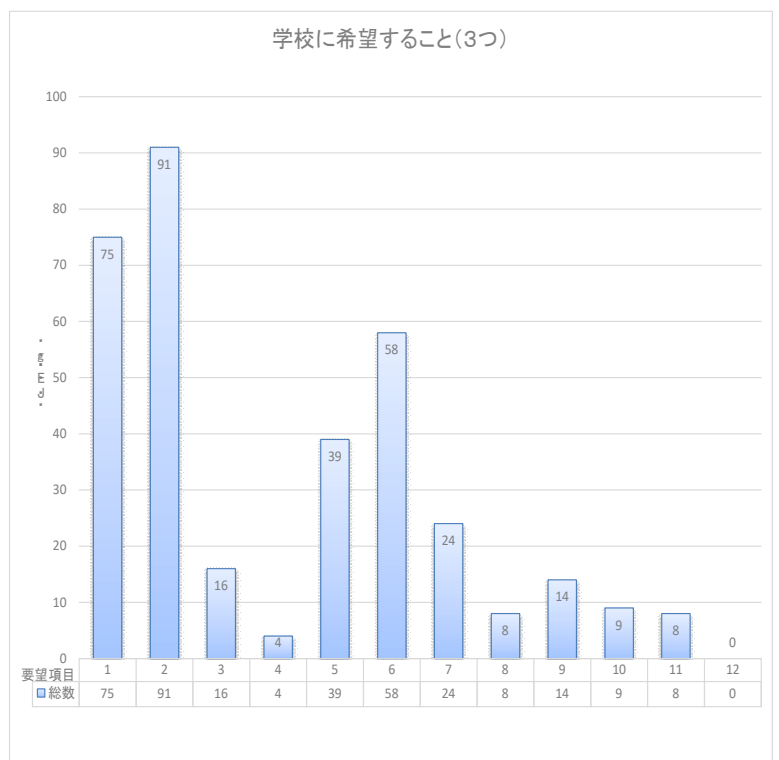
【学校に望む（期待する）こと】：3つまで選択 上位の5項目を記載

- 1 ②心の教育や人権教育の充実 (76.5%)
- 2 ①学力向上の推進 (63.0%)
- 3 ⑥社会ルールやきまりを守る指導 (48.7%)
- 4 ⑤体験活動の充実 (32.8%)
- 5 ⑦教職員の資質・指導力の向上 (20.2%)

【保護者のアンケート 考察】

肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）が、全体で89%であり、10項目中8項目が85%以上であった。これらから全体的には概ね達成と思われる評価が得られた。しかし、90%以上であった項目が10項目中3項目であり、特に設問7「気軽に相談」は82%で、改善が必要である。また、各設問でD「そう思わない」と回答しているのは6項目である。少数ではあるが学校は深刻に受け止めなくてはならない。特に、設問8「いじめ、不登校のない学級づくり」では、肯定的な評価100%を目指さねばならない。

学校に要望する項目では、例年とほぼ同じ項目ではあるが、昨年度にはなかった「⑦教職員の資質・指導力の向上」が5番目に入っている。学力向上や心の教育、ルールを守る子どもの育成のためにも、今後もより一層、全職員で資質向上を目指さなければならない。



【児童のアンケート設問・結果】

問1 明るく心豊かな子

①友達にやさしくできましたか。 ②友達をいじめたり、悪口などを言ったりしないで仲よく過ごせましたか。

問2 自ら学び、よく考える子

①自分から進んで勉強や宿題ができましたか。 ②自分でよく考え、勉強や生活ができましたか。

③毎日、家庭学習に取り組めましたか。(目安は、学年×10分)

問3 健康で主体的に取り組む子

①体育の授業では、進んで運動ができましたか。 ②休み時間や放課後の部活でたくさん運動ができましたか。

問4 あいさつのできる子

①先生方 ②地域の方 ③おうちの人

問5 毎日楽しく登校できましたか。

問6 先生方は、あなたが困ったときに相談にのってくれましたか。

A : よくできた

B : 多少できた

C : あまりできなかった

D : できなかった



【児童のアンケート 考察】

肯定的な評価(「よくできた」「多少できた」を合計した割合)が、平均して91%であった。設問全体を通じてよく達成しているという評価が得られた。

肯定的な評価が90%以上であった項目が12項目中10項目あった。特に「友達にやさしくできた」「体育の授業で、進んで運動」「あいさつできる(先生方へ)の肯定的な評価は95%と最も高かった。このようなことから、長柄小の子ども像として、「みんなで仲良く優しく、体育が好きで体を動かして遊ぶことができる、そして学校では先生に積極的に挨拶ができる」と浮かび上がる。一方で、「毎日、家庭学習に取り組む(学年×10分)」では、肯定的な評価が75%で(昨年度は88%)で12項目中、最も低かった。今後の課題である。

全体的な考察

目指す児童像「明るく心豊かな子」「自ら学び、よく考える子」「健康で主体的に取り組む子」の観点から

- 「明るく心豊かな子」については、保護者の95%、子どもたちの96%が肯定的な評価をしている。また、『学校に望む(期待する)こと』でも「心や人権教育の充実」が最も回答が多く、期待に応えていけるよう、道徳教育を要に充実を図っていく。
- 「自ら学び、よく考える子」については、家庭学習の取組について保護者は83%(昨年度77%)、児童は91%(昨年度90%)肯定的な評価に保護者と児童で差が見られるが、昨年度よりともに向上している。また、『学校に望む(期待する)こと』でも「学力向上」が2番目に回答が多かった。教員の資質向上、授業力向上、授業改善の工夫に努めると同時に、家庭学習の定着や学習に向かう規律を身に付けることなどを全職員で取り組んでいく。
- 「健康で主体的に取り組む子」については、保護者は86%(昨年77%)、児童は94%(昨年91%)と肯定的な評価にやや差が見られる。しかし、いずれも昨年度より肯定的な評価の割合が高い。また、『学校に望む(期待する)こと』では6番目であり、昨年度(4番目)より期待度は低い。体育科の授業や外遊び、部活動を通じて、体力の向上を目指すこと、さらに長時間のゲームによる寝不足、朝食を食べないなどの悪循環を断ち、再度「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活の大切さについても留意し、指導していく。